

誰ひとり取り残されない
SDGs x コミュニケーション
ワークショップ

6/21 (日) 9:30~12:00 @オンライン



国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
主任研究員
青木志保子

プロフィール

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主任研究員／
理化学研究所未来戦略室客員研究員

経歴

横浜国立大学教育人間科学部地球環境過程学士（理学）

東京大学新領域創成科学研究科環境システム学修士（工学）

2008年 福生市役所入庁（環境課）

2012年 一般社団法人環境ビジネスウィメン 官民連携コーディネーター（環境省プロジェクト他）

2013年 NPO法人BeGood Café 官民連携コーディネーター（経済産業省プロジェクト他）

2015年－ 国際大学GLOCOM 主任研究員

2018年－ 理化学研究所 未来戦略室 客員研究員



Key interest : 「社会的課題」、「官民連携」、「多様性」、「対話」、「未来社会」

目指すところ：

「誰ひとり取り残さない」SDGs×コミュニケーション



1、コミュニケーションの現状を把握する

プレゼン：今ここ



2、「誰ひとり取り残さない」
そのために何ができるか？どうすればよいか？

ワーク

1、コミュニケーションの現状を把握する

- ①コミュニケーションの現在地（時代感）
- ②ペルソナを理解（どんな人々がどれくらいいるのか）
- ③手段の理解（どんな手段があるのか）
- ④課題解決のための事例

① コミュニケーションの現在地（時代感）

①コミュニケーションの現在地（時代感）

現在地：

- 1、科学技術の発展（人類の第3の革命としての情報社会）
- 2、グローバル化、高齢化、社会課題増



<https://www.iza.ne.jp/kiji/entertainments/news/130928/ent13092815130003-n1.html>より

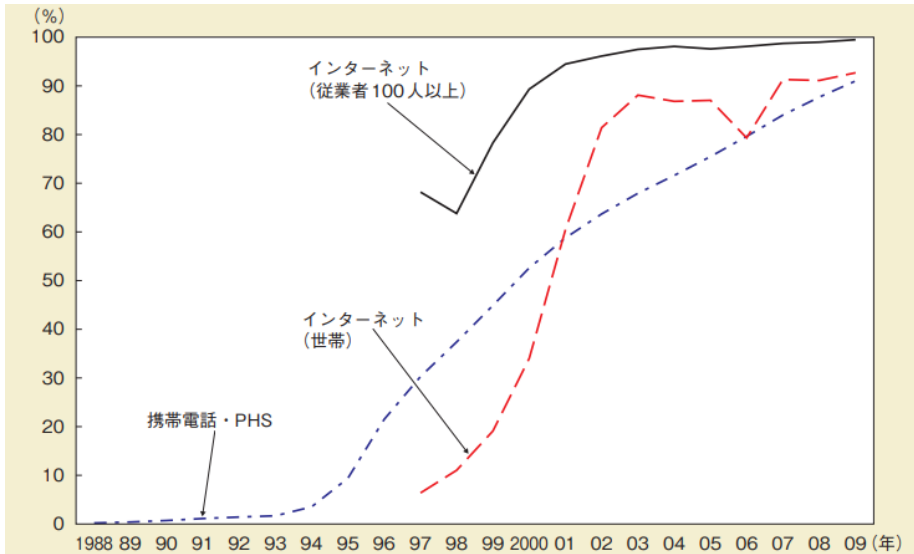


https://www.elecom.co.jp/pickup/column/vr_column/00003/

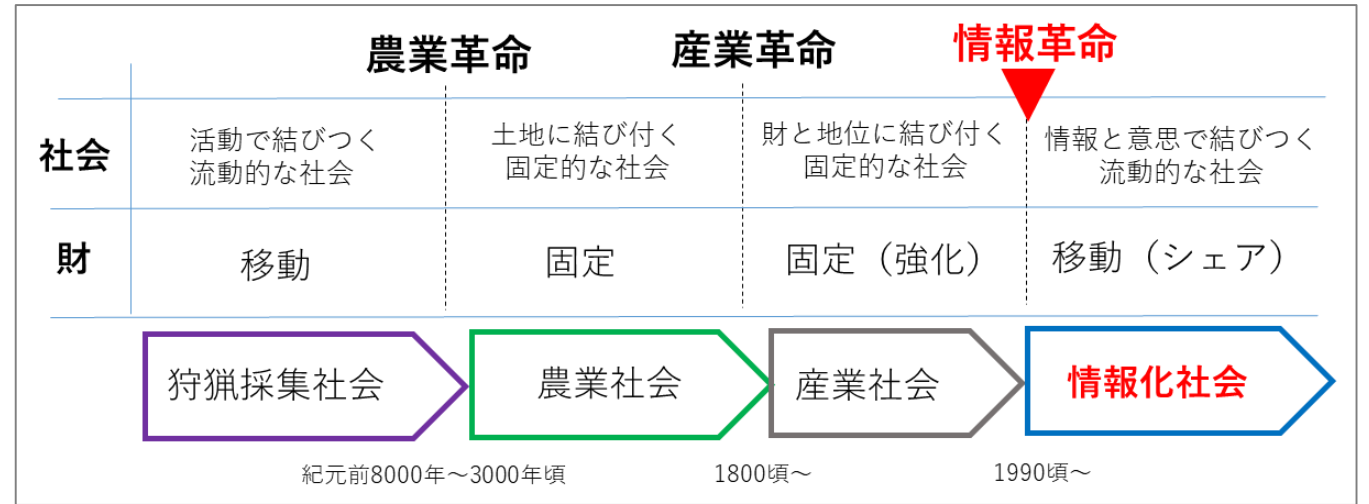
⇒ 高度情報化社会 ∞ 多様性社会

(前回講座の再掲)

1990年ごろに起きた情報革命によってもたらされた人類進化の社会



総務省,通信利用動向調査
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>より



青木志保子, OPINION PAPER No.22(18-005)価値観で結びつくこれからの家族の形
 ~家族と財の関係性への考察~より一部改変

Scaling Bitcoin 2018, Jun Murai, Invited Talk: Deploying Blockchain At Scale. Lessons from the Internet Deployment in Japan.発表資料より

- 1、多くの人の間を 2、瞬時に 3、低コストで 4、双方向に
 情報を流通させることができる社会

①コミュニケーションの現在地（時代感）

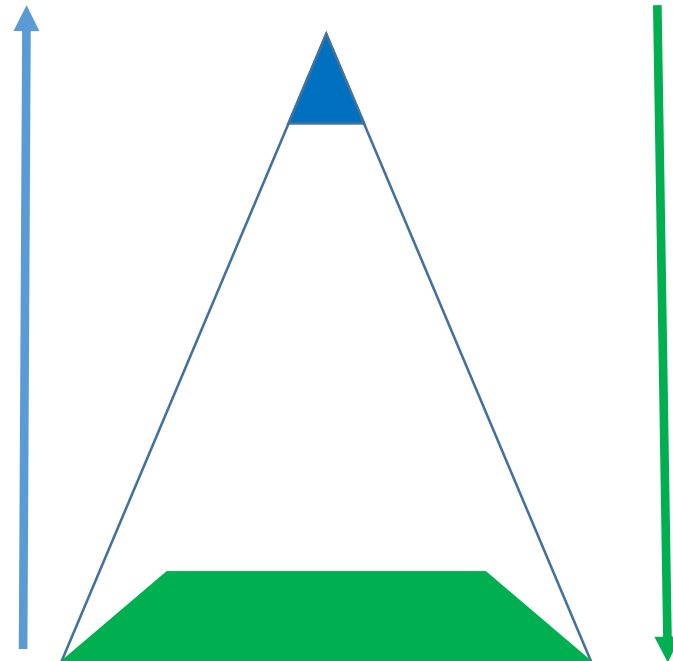
高度情報化社会 ∞ 多様性社会

⇒ 使える人は使える、使えない人は使えない、という現状（格差社会）

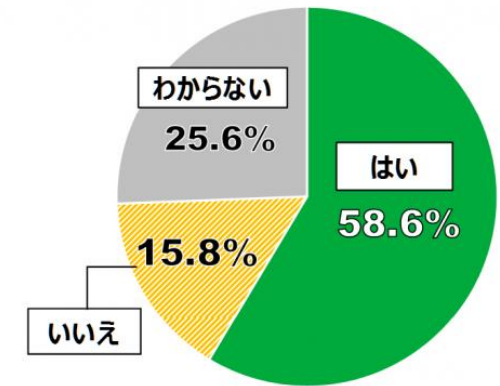


https://www.elecom.co.jp/pickup/column/vr_column/00003/

富裕層、先端企業etc



Q 今回の休校措置により、教育格差を感じることがありますか。(n=1000)



日本財団「学校教育と9月入学」調査より
https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey

高齢者、貧困層etc

①コミュニケーションの現在地（時代感）

●災害時：最大6か月、ほぼ最後は高齢者か障がい者



■ 新潟中越地震における避難所の様子

http://www.innovation-nippon.jp/reports/2018Disaster_Report_DR.pdf

●気候変動：貧困層が最も苦しむ状況‘気候アパルトヘイト’



国連ニュース

<https://news.un.org/en/story/2019/06/1041261>

有事の際、「社会的弱者（情報弱者）」が取り残されてしまう現状

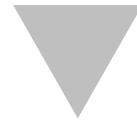
「社会的弱者」・・・

女性、高齢者、家族の育児や介護を抱える個人、障害や疾病を抱える個人、外国人な

どの人々などがなってしまうことが多い

日本学術会議、提言書『いまこそ「包摂する社会」の基盤づくりを』、H26より
<http://www.sci.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-t197-4.pdf>

現在地：高度情報化社会 ∞ 多様性社会



格差（取り残されやすい）状況を
解決していく必要性

②ペルソナの理解（どんな人々がどれくらいいるのか）

それぞれ日本において総人口の約何%いると思いますか？

(令和2年5月：1億2590万人)

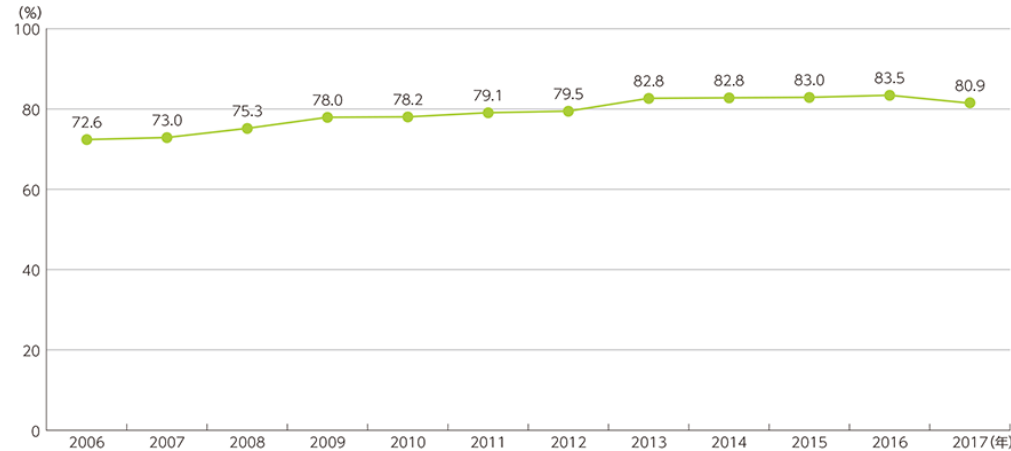
- ① インターネットを使う人（ウェブアクセス）
- ② 高齢者（65歳以上）
- ③ 外国籍
- ④ 障がい者（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者）

②ペルソナの理解（どんな人々がどれくらいいるのか）：ウェブアクセス

インターネット、SNSとも国民のおよそ80%が利用

●インターネット利用率の推移とインターネット利用端末の種類

総務省,通信利用動向調査
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>より



●主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率（全年代・年代別）

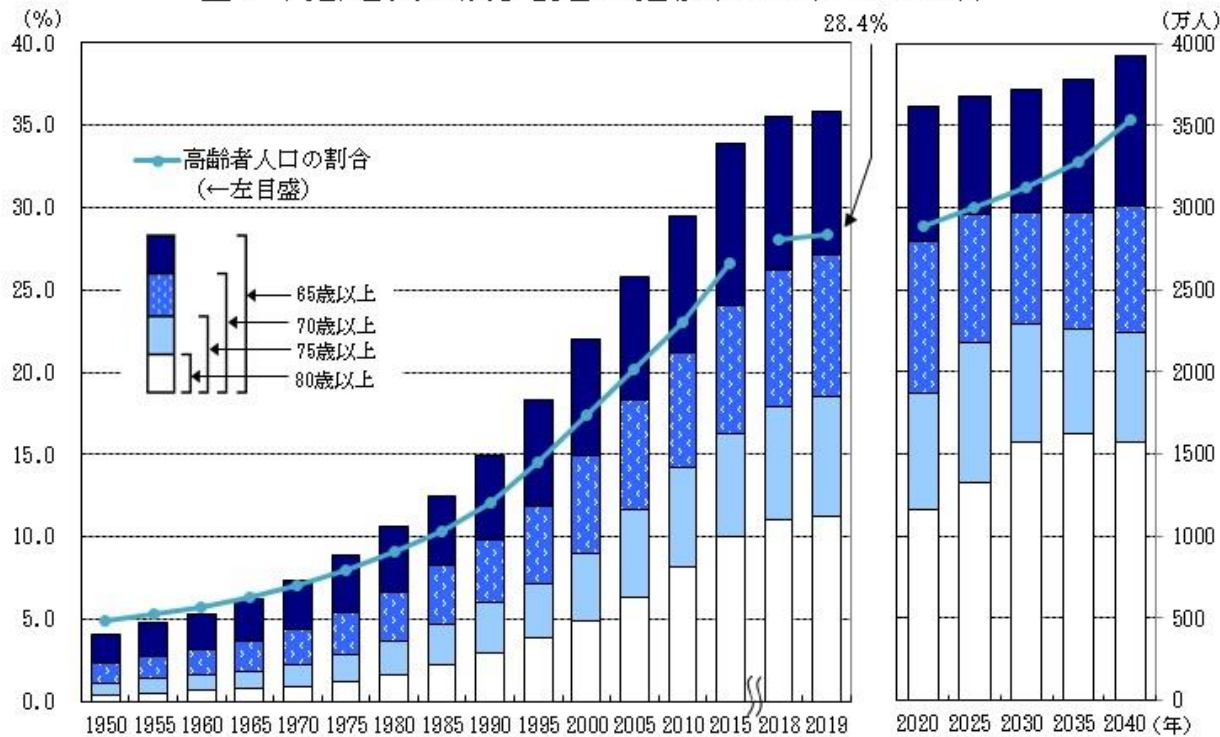
総務省情報通信政策研究所,平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書より
https://www.soumu.go.jp/iicp/research/results/media_usage-time.html

	全年代(N=1500)	10代(N=141)	20代(N=209)	30代(N=257)	40代(N=324)	50代(N=270)	60代(N=299)	男性(N=757)	女性(N=743)
LINE	82.3%	88.7%	98.1%	93.4%	87.7%	82.6%	52.8%	79.0%	85.7%
Twitter	37.3%	66.7%	76.1%	41.6%	34.0%	23.0%	9.0%	37.5%	37.0%
Facebook	32.8%	17.0%	47.4%	49.8%	36.7%	29.3%	14.4%	32.8%	32.8%
Instagram	35.5%	58.2%	63.2%	44.0%	35.8%	24.4%	8.0%	28.4%	42.8%
mixi	4.5%	2.8%	9.1%	5.4%	5.6%	2.6%	1.7%	5.2%	3.8%
GREE	2.0%	3.5%	4.3%	2.7%	1.5%	1.5%	0.0%	2.4%	1.6%
Mobage	4.0%	7.8%	7.2%	4.3%	3.7%	3.7%	0.3%	6.2%	1.7%
Snapchat	2.0%	5.7%	7.7%	0.8%	0.3%	0.7%	0.3%	1.8%	2.2%
TikTok	10.3%	39.0%	21.1%	7.8%	6.5%	4.8%	0.3%	9.0%	11.6%
YouTube	75.7%	91.5%	92.8%	88.7%	81.8%	73.3%	40.5%	77.0%	74.3%
ニコニコ動画	16.7%	31.2%	35.4%	16.0%	13.6%	11.1%	6.0%	20.3%	13.1%

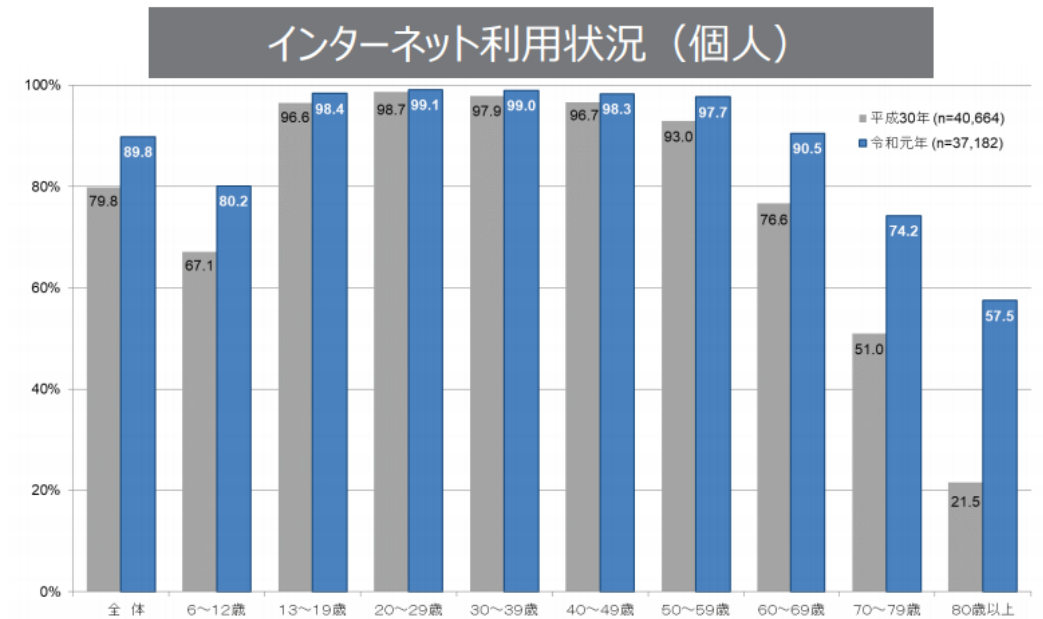
②ペルソナの理解（どんな人々がどれくらいいるのか）：高齢者

総人口に占める割合は28.4%

図1 高齢者人口及び割合の推移(1950年～2040年)



総務省統計局
<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1211.html>

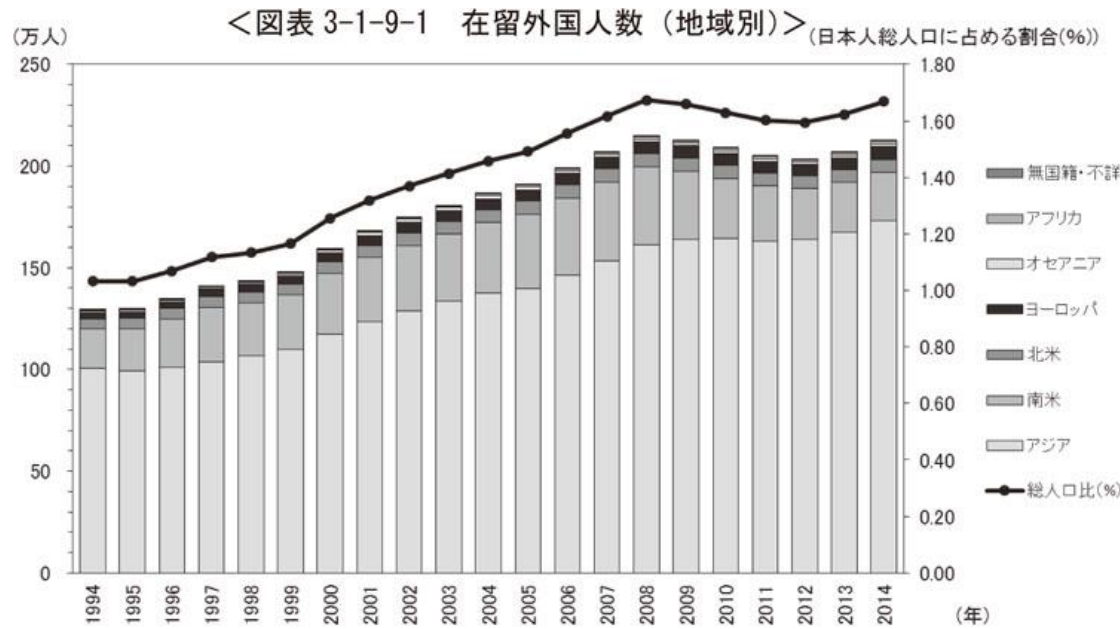


総務省通信利用動向調査
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/200529_1.pdf

②ペルソナの理解（どんな人々がどれくらいいるのか）：外国人

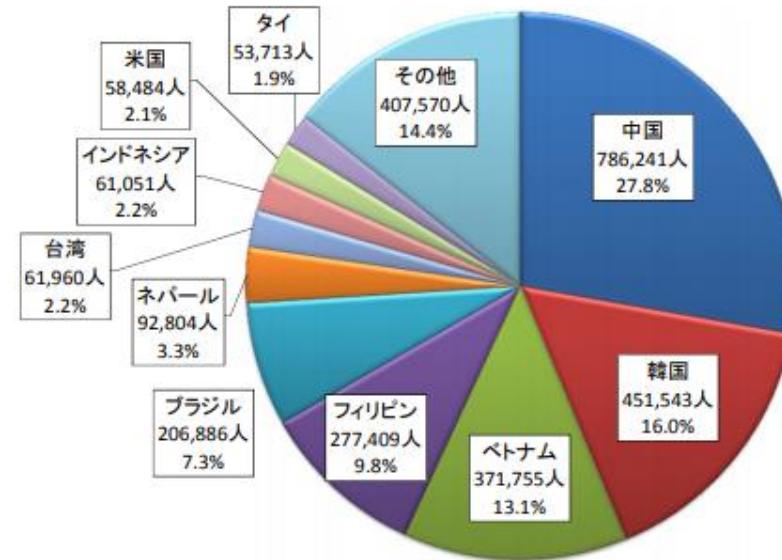
総人口に占める割合は約2%

●在留外国人の総数



●在留外国人の構成比

【第3図】 在留外国人の構成比（国籍・地域別，令和元年6月末）



(備考) 1. 在留外国人数は、法務省「在留外国人統計」をもとに作成。1992年までは外国人登録者数。1994年から2011年までは、外国人登録者数のうち中長期登録者数に該当し得る在留資格をもって在留する者及び特別永住者数の数。2012年以降は在留外国人数。

2. 日本の総人口は、総務省統計局「人口推計」をもとに作成。

内閣府
https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/sentaku/s3_1_9.html

法務省
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukoku_kanri04_00083.html

②ペルソナの理解（どんな人々がどれくらいいるのか）：障がい者

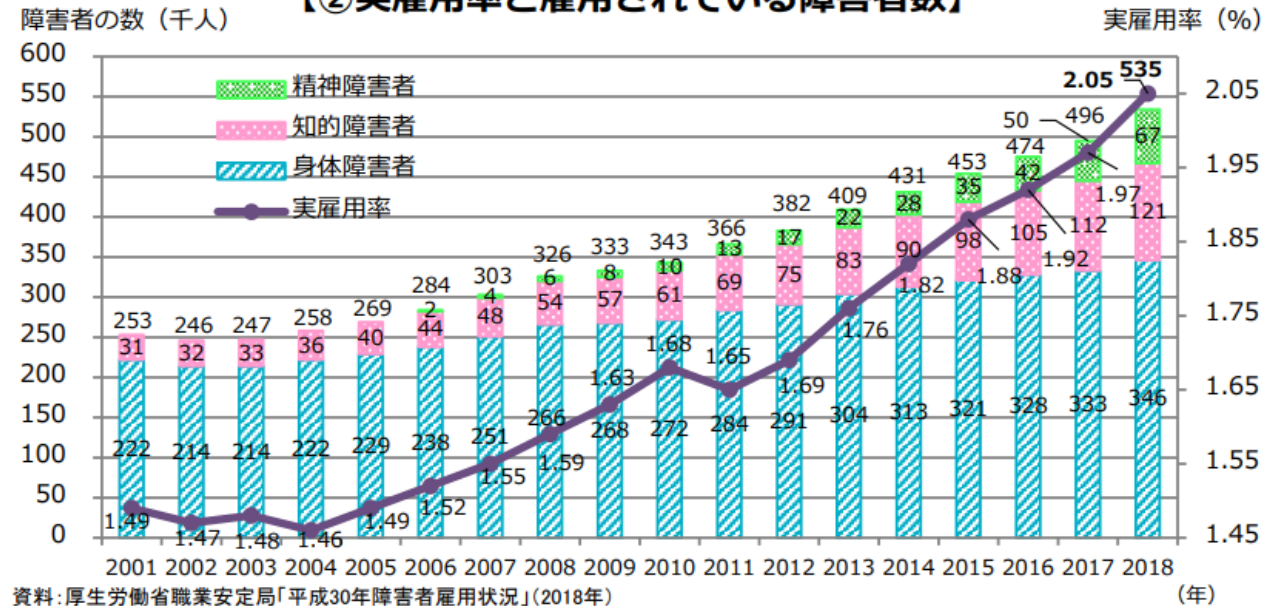
総人口に占める割合は約7.6%

【①障がい者数】

	総数	在宅者/外来患者	施設入所者/入院患者
身体障害者（児）	436.0万人	428.7万人 (98.3%)	7.3万人 (1.7%)
知的障害者（児）	108.2万人	96.2万人 (88.9%)	12.0万人 (11.1%)
精神障害者	419.3万人	389.1万人 (92.8%)	30.2万人 (7.2%)

資料：身体障害者（児）・知的障害者（児）の在宅者数は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部「生活のしづかさに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」（2016年）
 身体障害者（児）・知的障害者（児）の施設入所者数は、厚生労働省政策統括官付社会統計室「社会福祉施設等調査」（2015年）などより厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成
 精神障害者数は、厚生労働省政策統括官付保健統計室「患者調査」（2017年）より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

【②実雇用率と雇用されている障がい者数】

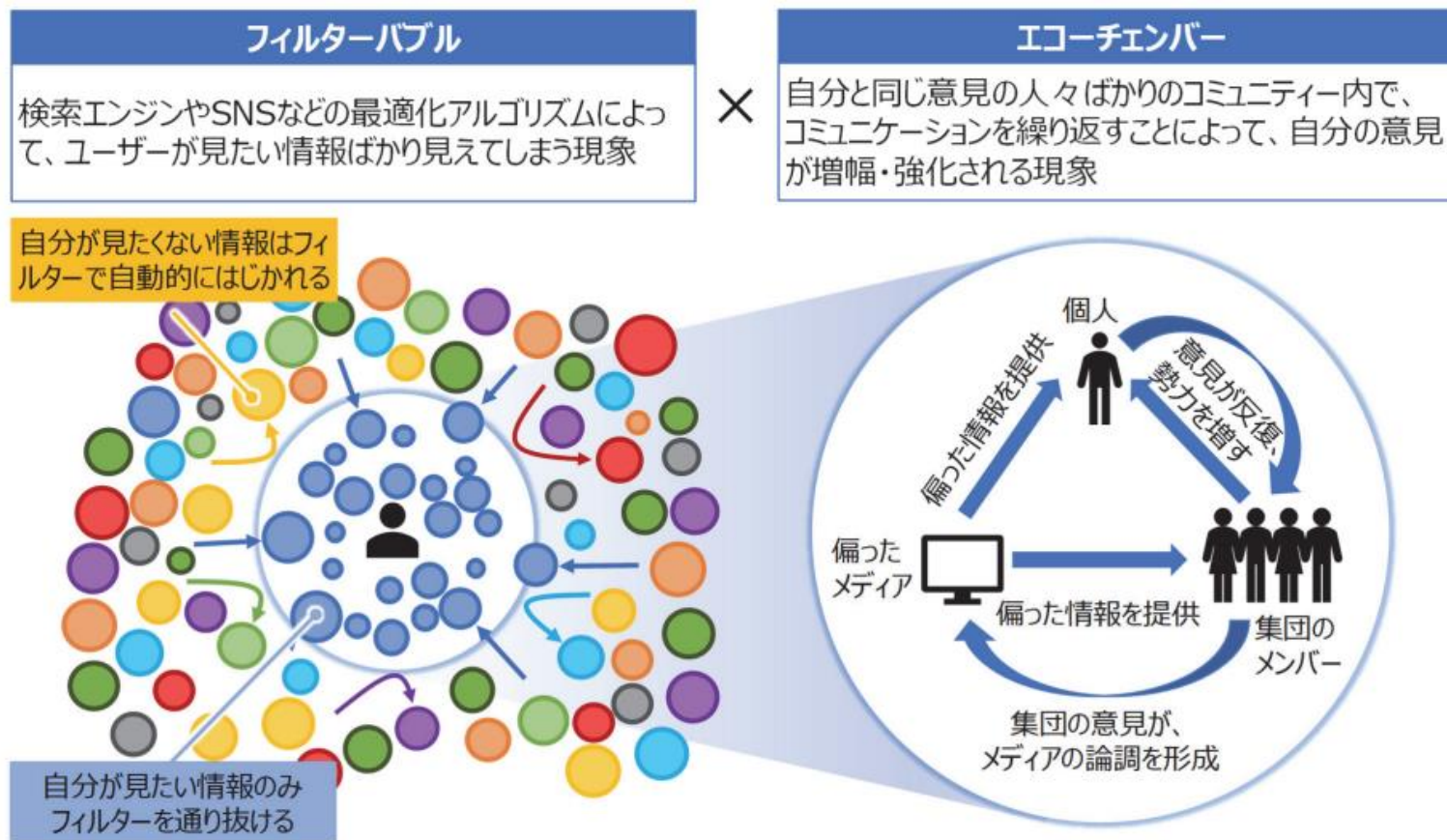


資料：厚生労働省職業安定局「平成30年障がい者雇用状況」（2018年）
 （注）1. 雇用義務のある企業（2012年までは56人以上規模、2013年から2017年までは50人以上規模、2018年以降は45.5人以上規模の企業）についての集計である。
 2. 法定雇用率は2012年までは1.8%、2013年から2017年までは2.0%、2018年4月以降は2.2%となっている。
 3. 2011年の実雇用率については、2010年7月に制度改正（短時間労働者の算入など）があったため、前年の数値との単純比較は適当でない。

厚生労働白書（H30）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000524475.pdf>

(前回の再掲) 情報格差はわたしたちにも フィルターバブル、エコーチェンバー

‘見たい情報のみを見る’ & ‘自分の考えがぁっている’



三菱総合研究所レポート
https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/ecovision/dia6ou000001mwznz-att/ei20191025_mirai2050-1-5.pdfより

③手段の理解（現状一般）

③手段の理解（現状一般）：おもな媒体

発信者
(自治体、企業、組織、個人)



①リアル

②モノ
(紙、音)

③デジタル
(ウェブ、SNS)



<https://www.townnews.co.jp/0605/2019/08/01/491843.html>



<https://www.meiwajisho.co.jp/archives/7016>



③手段の理解（現状一般）：おもな表現

①言語（多言語）

Foreign-language Human Rights Hotline.
外国人権相談ダイヤル

English Don't struggle alone. Please call the "Foreign-language Human Rights Hotline".	中文 请不要一个人自我烦恼，可以拨打“外国人权咨询热线电话”。	
한국어 혼자서 고민하지 마시고 “외국어 인권 상담 다이얼”로 전화해 주세요.	Tiếng Việt Khi gặp rắc rối thì đừng chịu một mình mà hãy liên lạc đến số điện thoại của “Trung tâm tư vấn nhân quyền dành cho người nước ngoài”.	
Filipino Mangyaring tumawag sa “Hotline Para sa Karapatang Pantao ng mga Dayuhan” nang hindi mag-isa na nag-aalala.	Português Não guarde suas preocupações. “Ligue para o centro de consulta sobre direitos humanos em idiomas estrangeiros”.	नेपाली एसै चिन्तामा नबसी, यिदोसै माया मानव अधिकार परामर्श डायल मा कल गर्नुहोस्।
Español No sufra en soledad, llame al “Centro de contacto para consultas sobre derechos humanos en idiomas extranjeros”.	Bahasa Indonesia Jangan khawatir sendirian, silahkan hubungi “Nomor konsultasi Konsultasi Hak Asasi Manusia dalam Bahasa Asing”.	ภาษาไทย ท่านไม่ต้องกังวลกับความทุกข์ใจคนเดียว คุณควรโทรเข้ามาที่ “สายด่วนให้คำปรึกษาด้านสิทธิมนุษยชนภาษาต่างประเทศ”.

0570-090911

受付時間 (Service Hours) 平日 (Weekdays) 9:00~17:00
Call rates will be charged when contacting the call center.
※コールセンターまでの電話料金がかかります。

法務省人権擁護局 ● Human Rights Bureau, Ministry of Justice

外国人のための人権相談
<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken21.html?fbclid=IwAR2o4m172CD2plga-HEtSzDIFXnJ3Ew7q6vpGGhOSg0mkY6kUfPHEZ5FaQ>

②音、声



③点字、ピクトグラム



<https://r.nikkei.com/article/DGXMZO57650090T00C20A4LB0000?s=3>



<https://www.in-bound.or.jp/word/w03/w03-20.php>

④写真、映像



④解決のための事例

スマートスピーカー

鎌倉市と株式会社ボイスタートは協定を締結しました
～「スマート(AI)スピーカー × シニア世代」の実証実験をスタートします～

このたび、鎌倉市と株式会社ボイスタート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:回谷 信吾)は、最新のテクノロジーが、鎌倉市内のシニア世代の孤独の解消や認知症予防等に役立つとともに、生活の利便性の向上に寄与することを検証するために、スマート(AI)スピーカー(※1)を用いた実証実験を行います。
この実証実験は、市が目指す「テクノロジーを活用して社会課題を解決する“パブリテック(Publitech)(※2)”の取り組み」であり、実証実験にあたって協定を締結しました。
今回の実証実験では、SDGsの17の目標のうち、「8 すべての人に健康と福祉を」「9 働きがいも経済成長も」「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」の3つを軸に、派生する「11 住み続けられるまちづくりを」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の実現につながる取り組みをすすめていきます。
今後の取組成果に、ぜひご注目ください。



鎌倉市プレスリリース
<http://160.16.241.139/kisya/data/2018/20180928.html>



■ 入口に手書きの避難者リストが張り出されている様子

http://www.innovation-nippon.jp/reports/2018Disaster_Report_DR.pdf

幼老複合施設



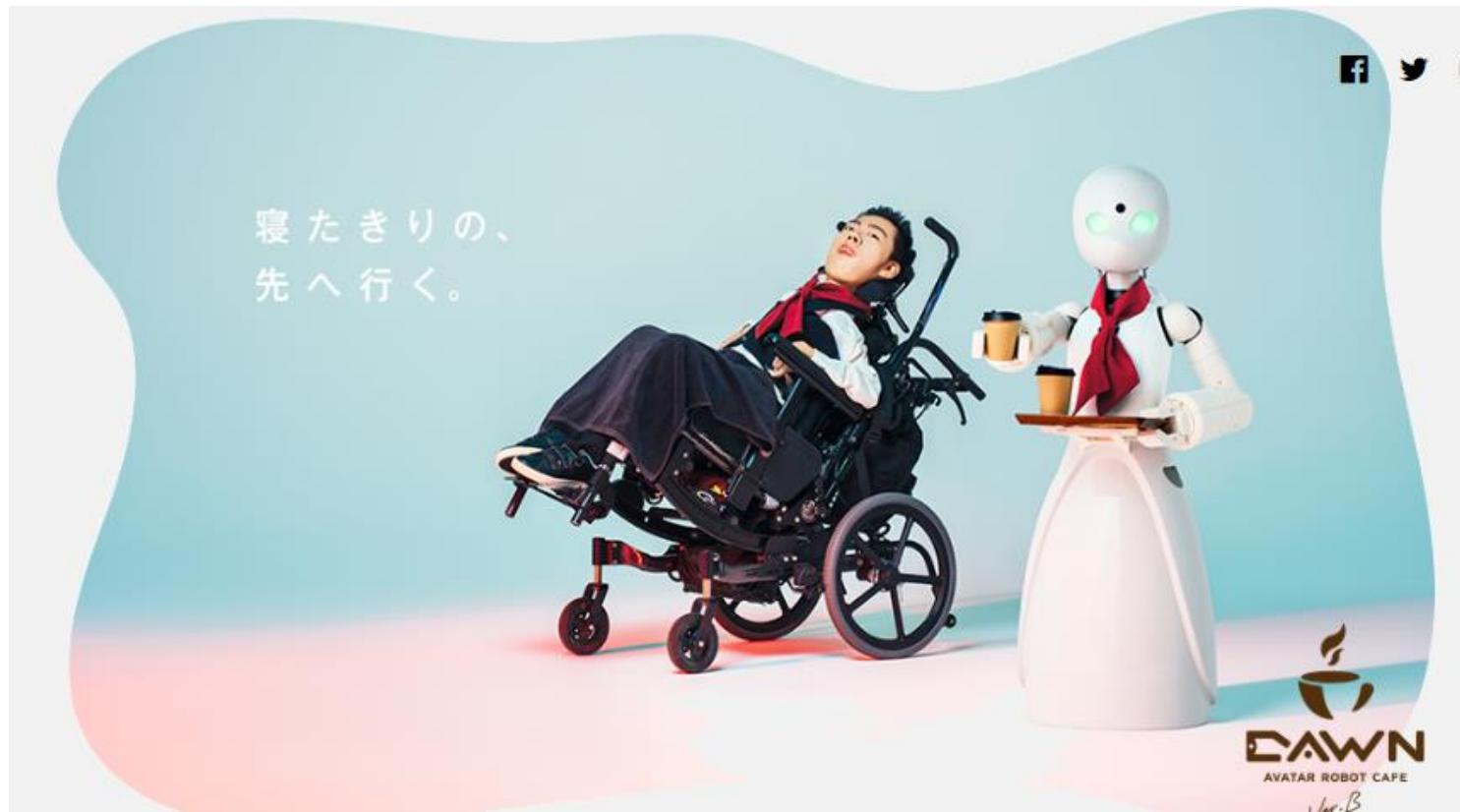
事業構想2015年11月号
<https://www.projectdesign.jp/201511/child-care-support/002513.php>

Avatar in store



<https://newspicks.com/news/4437957?block=side-news-similar>

分身ロボットカフェ



誰ひとり取り残さないSDGs×コミュニケーション



現状を理解する。（格差が起きやすい現状、ペルソナと量、手段）



そのうえでの「社会と行動のデザイン」へ

①「弱者（救う人）」から
「多様性（可能性を持つ人）」へ



②「伝達」から「対話」へ



ご清聴ありがとうございました。